

THE WEEKLY NEWS

2023～2024年度

国際ロータリー会長 ゴードンR.マッキナリー

国際ロータリー
第2790地区ガバナー 鶴 沢 和 広

第6グループガバナー補佐 手 塚 節

鴨川ロータリークラブ

会 長 伊 藤 正 人

副 会 長 篠 寄 忠 昭

幹 事 倉 島 圭 子

会 報 亀 田 美 穂



世界に希望を生み出そう

No. 2817 (11) 2023年9月26日

＝今週のプログラム＝

9月26日 クラブ研修セミナー①
ロータリーの遠隔・
組織体制

＝次週のプログラム＝

10月3日 クラブフォーラム
財団セミナー報告

例会日 (火) 12:30～13:30
例会場 鴨川シーワールドホテル

事務所 〒296-0001 鴨川市横渚697 伊藤胃腸科クリニック内
URL <http://www.kamogawa-rc.com> TEL・FAX 04-7093-2001

第11回 例会 報告

日 時：令和5年9月19日12:30～

- | | | | |
|------------------------|-----------|------------|-----------|
| 1、点 鐘 | 会長 伊藤 正 人 | 5、委員会報告 | |
| 2、ロータリーソング「それでこそロータリー」 | | 親睦委員会 | 大川 茂 会員 |
| 3、会長挨拶 | 会長 伊藤 正 人 | 会員結婚記念日祝い | |
| 4、会員卓話 | | 6、ニコニコボックス | |
| 希望の風奨学金について | 羽鳥 鋭一 会員 | 7、出席報告 | 長谷川 治夫 会員 |
| | | 8、点 鐘 | 会長 伊藤 正 人 |

会長挨拶

会長 伊藤 正 人



月曜の夕方より体調不良で、頭痛、喉の痛み、倦怠感が続いています。新型コロナかと思いましたが、抗原定性検査の結果は陰性でしたので、まずは一安心しました。

1. 『ローターアクトとともに市民の健康づくり』

今年度の1回目の健康測定が終わりました。

3チームでそれぞれ10名ほどの職員が参加しました。

9月7日 鴨川自動車教習所

(参加者：伊藤、羽鳥、神定他)

9月12日 鴨川シーワールド

9月19日 (株)KTS

(参加者：伊藤、倉島、篠寄他)

あとは2か月後11月に健康のために運動指導と1月に2回目の健康測定を行う予定です。

2. ピアノ連弾コンサートの日程調整

鴨川市の教育委員会で、今年度のコンサートの日程などを協議してきました。

教育委員会からは渡辺学校教育課長、鴨川クラブからは伊藤、亀田、齊藤、倉島の4人が出席しました。

会場は東条小学校、日時は11月下旬から12月中旬

詳細は、東条小学校と教育委員会、RAIの間で詰めていきます。

3. オルカ鴨川応援

9月17日 オルカの試合の応援に行ってきました。前半戦を終わって3-1で勝っていたので、勝利はほぼ間違いなしとおもっていたら、相手も2位についている強豪で後半戦は攻めつづけられ2点を失い、結局3-3の引き分けに終わりました。勝てなかったのは残念ですが、引き分けでも首位をキープしました。残りの試合に頑張っしてほしいです。

世界各地で大災害が発生し続けています。モロッコでは大地震、リビアでは大洪水が発生して、多くの被災者や死者が出ているそうです。

リビアと聞くと砂漠の国というイメージが強く、大洪水???といった感じです。テレビのニュースでは、偏西風の大蛇行が原因だそうです。地球沸騰化と関連があるのかはわかりませんが、なんとなく不安になります。

本日は、羽鳥会員による『ロータリー希望の風』についての卓話があります。東日本大震災より12年が経過しましたが、東北の太平洋側では”真の復興”には程遠い状況です。ロータリーとしても支援を継続していかなければなりません。

*** 会員卓話 … ロータリー希望の風奨学金**

①希望の風

2011年4月11日緊急ガバナー会議にて東日本大震災支援委員会発足。委員長は当地区2010-11 織田吉郎ガバナー。7月新旧ガバナー引継ぎ会 10月被災地支援賛同地区合同会議、同月名称がロータリー希望の風に決定。2015年に風の便り創刊（その間ロータリーの友で現況報告）

②奨学生の条件

・東日本大震災で両親もしくは片親を失った「遺児」で大学、短期大学、専門学校に学ぶもの

③奨学金の給付

・入学から卒業まで毎月5万円を継続して給付し、返還を求めない

④申請から給付まで

・被災各県高等学校・遺児家族・本人→推薦高等学校の推薦→申請→資格審査→給付決定→在学証明→奨学金給付開始

⑤希望の風の支援期間…震災当時0歳だった子供が大学を卒業するまでの期間

⑥国内34地区のうち10地区が参加してスタート

⑦発足までの歩み、東日本大震災被災後、日本国内だけでなく世界中のロータリークラブ、ロータリアンが支援へと動き出しました。支援物資をトラックに積み込んで被災地に向かうクラブ。被災地では自身も被災している中、地域の人々の支援に奔走するロータリアンもいました。

そして34の地区からなるガバナー会には世界中のロータリークラブから支援の申し出が届いていました。被災した地区が広域で多地区にわたるためオール日本での対応を決めました。4月11日国内34地区のうち26人が東京に集まり緊急会議開催。国内ガバナー全員というわけにはいかなかったようですが宮城2520地区福島2530地区のガバナーも支援に追われる中、駆け付けました。この会議では義援金のロータリーらしい使い方について検討され

羽鳥 鋭一 会員

ました。ロータリーらしい支援活動とは？、被災地区でもある当2790地区織田ガバナーは「ロータリーの真価が問われるのは災害初期ではなく復興期である。被災者の避難生活は長期にわたるし、義援金の使途は被災者を支援するだけに留まらず、それを通して被災地のクラブがより良いクラブに成長していくことまで考えて決定するのがベスト」と。この提言をもとに長期的な取り組みが必要であるという認識にたつて使途を検討し、一部を見舞金として被災地区に配分し、緊急支援に役立ててもらうことで一致。長期的な取り組みについては使途検討委員会が組織して委員長には当地区織田ガバナーが就任、織田委員長は単年度制のロータリーでは継続させていくことに課題がある。継続のためには魅力的なプログラムを作ることが重要であり、1公正で2温かさのある3建設的なものでなくてはならない。行政やほかの組織にないロータリーらしさが出せないだろうかとの思いが語られました。

⑧奨学生の募集 同年11月より

⑨経費を最小限に少ない経費を実現できたのはロータリアンやその配偶者が事務局員を務めたおかげ年間100万円を超える振り込み手数料は口座のある千葉銀行の協力で無料に

⑩広がる支援の輪

クラブの創立記念事業やIM、チャリティコンペ・コンサート・募金活動・ロータリー以外の企業団体からと支援の輪が広がっています。

⑪遺児たちの背中をそっと押す存在に

⑫道半ばロータリー希望の風プログラムはまだ道半ばこれからも被災遺児のために支援を続けるため多くの皆様の協力が必要としています。尊敬する故織田パストガバナーが命を削り、魂を込めて作り上げた子供と地域とRCの未来を願ったプログラムです。これからも継続して応援していきたいと思ひます。

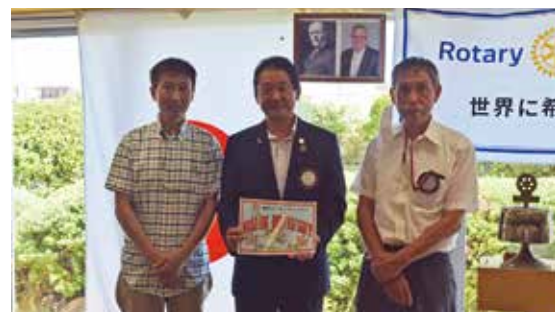
*** 委員会報告**

▶親睦委員会 … 大川 茂 会員

《会員結婚記念日祝い》

9月13日 亀田 美穂・省 吾ご夫妻

23日 豊田 晴久・敦子ご夫妻



*** ニコニコボックス**

氏名	メッセージ	氏名	メッセージ
神定 浩明	体力測定協力お礼 らんまん、オルカイベント参加、 良かった	豊田 晴久	結婚記念日祝いお礼
樋口 洋子	オルカの試合、席なくソーリー	伊藤 正人	体調不良、コロナでなくてよかった

※本日のニコニコボックス：8,000円（本日までの累計額：173,000円）

*** 出席報告 出席免除会員 …… 3名**

例会日	会員総数	出席	M U	出席率(%)
9月12日	29	17	6	82.14%
9月19日	29	14	9	79.31%

本日のランチ

